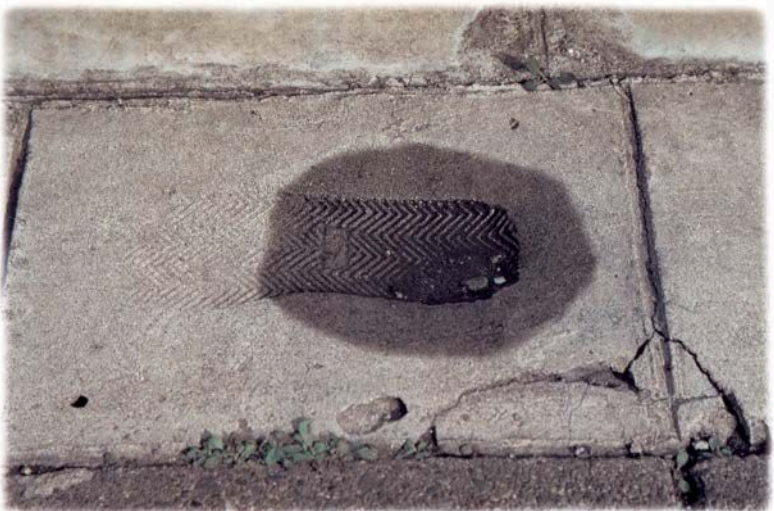
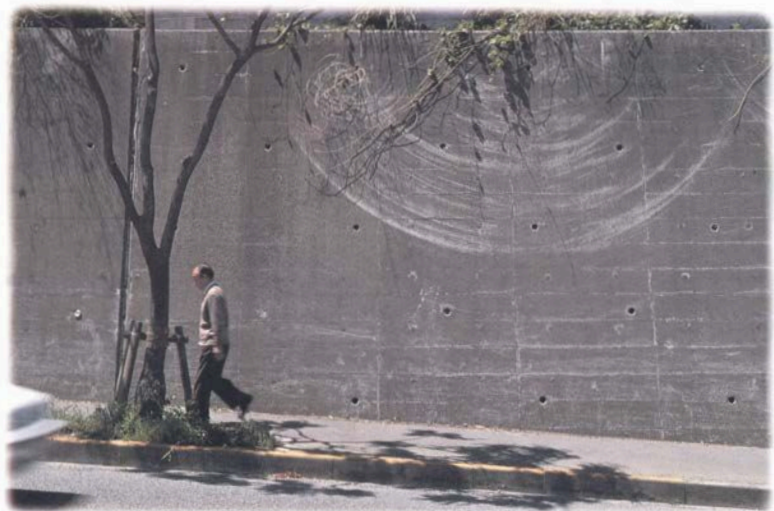




14/20 赤瀬川原平



14/20 赤瀬川原平



17/20 赤瀬川原平

みちの歩き方 路上の観察者たち

How do the observers walk
on the street?

赤瀬川原平
安部沙保里
牛島光太郎
野村菜美

2022年6月3日 [金] - 7月3日 [日]

大分市美術館 企画展示室

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日 6月13日（月）、6月20日（月）、6月27日（月）

観覧料 一般600（500）円、高校生・大学生400（300）円、
中学生以下無料

※（ ）内は20人以上の団体料金です。

※上記観覧料でコレクション展も併せて観覧できます。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料です。

※本展は「大分市美術館年間パスポート」が利用できます。

※新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用してご入館ください。発熱や風邪の症状がある方はご遠慮ください。

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、
TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、
J:COM大分ケーブルテレコム、NOAS FM、ゆふいんラヂオ局

協力 大分県立芸術文化短期大学、大分路上観察学会

赤瀬川原平 《トマソン黙示録 干渉編》1988 オフセット

《トマソン黙示録 雨上がりの体重計》1988 オフセット

《トマソン黙示録 風のレコード》1988 オフセット



大分市美術館
OITA ART MUSEUM



〒870-0835 大分市大字上野 865 番地
TEL(097)554-5800 FAX(097)554-5811

路上の観察者たち みちの歩き方

2022年6月3日 [金] - 7月3日 [日]
大分市美術館 企画展示室

本展示会は、みちを歩き、そこで心惹かれるものを見つけ出し、作品を制作する作家たちを紹介します。

当館の所蔵作家である赤瀬川原平は、散歩に出かけては路上を観察し、「胸騒ぎ」を覚えるものを撮影、報告します。(そのひとつが「トマソン」です。) 赤瀬川の多様な活動の根底にある大きな要素は、そのように見慣れた光景をよくみて面白味を見出す視点にあります。

今回紹介する作家たちも、同様にみちを歩き、よくみることから作品制作をはじめます。しかし、そこで切り取るものも、表現の仕方もそれぞれ異なっています。

本展を通して、それぞれのアーティストたちによるユニークな「みちの歩き方」をお楽しみいただき、見慣れたみちに潜む面白さや美しさを再発見いただければ幸いです。

トマソンとは？



本展には赤瀬川原平の《トマソン黙示録》を展示します。

トマソンとは、赤瀬川原平が定義した概念で、

「不動産に付着していて美しく保存されている無用の長物」を指します。例えば、トマソン1号である「四谷階段」は、登って降りるだけの階段です。赤瀬川原平は、この「トマソン」を探し、報告する活動を行いました。やがて、赤瀬川原平は、さらに観察対象を広げ、自由に「胸騒ぎ」を覚える光景を探して歩く路上観察の活動へと展開していきます。

赤瀬川原平《トマソン黙示録 真夏の踊り場・四谷階段》1988 オフセット

[関連企画 / WORK SHOP]

安部沙保里 ワークショップ

「自由にわくわく、ドローイング！」

日時：6月19日(日) 午後2時～午後4時

場所：大分市美術館研修室、企画展示室

内容：安部沙保里さんによる作品解説の後、一緒にお気に入りの写真を見ながら、折り紙や水彩絵具、墨汁などを用いてドローイングします。

参加費：未使用の本展観覧券または年間パスポート
準備物：お気に入りの風景などの写真を A4 程度の紙に印刷したもの（スマートフォンをお持ちいただくことも可）

定員：10人

応募期間：6月1日～（定員に達し次第終了）

応募方法：電話、またはメール

(artsinkou@city.oita.oita.jp 宛)

にて下記必要事項をお知らせください。

牛島光太郎 ワークショップ

「さがしてみるとみかたがかわる」

日時：6月26日(日) 午後2時～午後4時

場所：大分市美術館企画展示室 他

内容：牛島光太郎さんによる作品解説の後、美術館周辺を歩いて新しい「みちの歩き方」を体験します。
参加費：200円(材料費)と未使用の本展観覧券または年間パスポート

定員：15人

応募期間：6月15日まで(消印有効) ※抽選

応募方法：はがき、またはメール

(artsinkou@city.oita.oita.jp 宛)

にて下記必要事項をお知らせください。

野村菜美 ワークショップ

「大分路上観察学会ぶれぜんつ

トマソン探偵団「きれいなまちの美しいよれ」編】

日時：6月25日(土) 午後1時～午後4時30分

場所：大分市美術館に集合し、大分市内にマイクロバスでかけます

内容：野村菜美さんによる作品解説の後、大分路上観察学会のメンバーの案内で大分市中心部のトマソンを鑑賞、路上観察しつつまちを歩きます。その後、撮影した写真の鑑賞会を行います。

参加費：500円と未使用の本展観覧券

または年間パスポート

準備物：デジタルカメラ(スマートフォン可)

歩きやすい靴、服装でお越しください。

定員：10人

応募期間：6月15日まで(消印有効) ※抽選

応募方法：はがき、またはメール

(artsinkou@city.oita.oita.jp 宛)

にて下記必要事項をお知らせください。

[必要事項]

- ①応募するワークショップ名
- ②参加者全員の氏名(よみがな)
- ③代表者の電話番号
- ④参加者全員の年齢または学年(※小学生以下は保護者同伴)
- ⑤実際に参加する人数



安部沙保里 | ABE Saori

1987年大分県生まれ。大分市在住。洋画家。

散歩しながら心惹かれる風景を写真に撮影し、それをもとに油絵を描く。抽象化された風景は、作家がその光景を見つけた際のようにこびこびと表現するかのよう、きらきらと輝いている。

《汚濁は汚濁、それは美と美》2015 油彩・キャンバス



©Tomas Svab

牛島光太郎 | USHIJIMA Koutarou

1978年福岡県生まれ。愛媛県在住。現代美術家。

路上や海辺で偶然拾った「もの」と、刺繍で綴った「ことば」を組み合わせてインスタレーション作品を制作。何の変哲もない「もの」の周囲にも、誰かの小さくも大切な物語があることを想像させる。

《意図的な偶然》(展示風景) 2014 京都芸術センター



野村菜美 | NOMURA Nami

1988年長崎県生まれ。大分市在住。グラフィックアーティスト。

散歩したり乗り物で移動したりする中で、気になる風景を写真に撮影し、作品化する。作家の腕に残った「残滓」もそのまま表現するため、ざらざらとした独自の質感を付与された光景は、鑑賞者もそこへ行ったことがあるかのような気持ちにさせる。

《distant landscape》2020 インクジェット・シルクスクリーン



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため、関連イベントを中止する場合があります。
最新情報は「大分市美術館ホームページ」をご確認ください。

交通案内

- バス/JR大分駅上野の森(南口)バスのりばから
中心市街地循環バス「大分きキャンバス」
【大分市美術館方面】行……………約9分
- タクシー/上野の森(南口)から……………約5分
- 車/東九州自動車道大分ICから……………約10分



〒870-0835 大分市大字上野 865 番地
TEL(097)554-5800 FAX(097)554-5811

